

【件名】	後樂園北歩道橋補修工事	【事務所名】	第六建設事務所
【工事場所】	東京都文京区後楽一丁目地内	【受注者名】	三井住友建設株式会社東京土木支店
【工期】	令和4年3月28日から令和5年5月1日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 渡邊 昭三

【工事概要】

落橋防止装置取付工 (PC鋼棒) 3箇所
 検査孔取付工 3箇所
 仮設工 一式

【表彰理由】 (※発注者側評価)

多くの通行人への配慮が必要な現場であったが、施工時間を調整するなど、工程管理や対外調整で課題に対応した。
 本橋梁の要である鉛直PC部材の健全性の確認や突出防止対策、また日々の計測管理等でPC構造の安全性を確保し施工した。
 特殊な構造や施工条件で施工の難しい現場であったが、技術力の発揮等により事故もなく、良好な成果で工事を終えることができた。



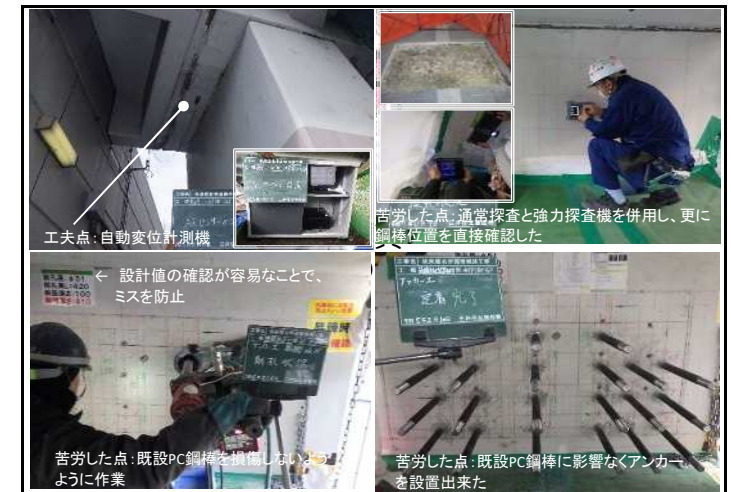
施工前 (歩道橋全景)



施工後 (施工箇所拡大)

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
 既設PC鋼棒は橋脚内深くに配列、手前には密集して鉄筋が配置され鉄筋探索レーダーでの鋼棒全数の位置確認は不可能、削孔位置決定に確信を得るために多くの時間を要した。
- ◇ 特に工夫した点
 アンカー削孔時に既設PC鋼棒に損傷を与えた場合、鋼棒が破断し落橋の危険性がある事から、自動変位計測機を設置し、施工時に於ける歩道橋の変位を常時監視して削孔作業を実施した。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
 既設PC鋼棒に損傷を与える事なくアンカー削孔が完了し、歩道を開放しての吊足場上作業中における濁水飛散及び資機材落下による第三者災害の発生無く竣工できたこと。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
 見栄えの良い仕事ではありませんが、日々多数の人達の往来がある歩道橋が安全・安心に通行出来るように働いていた人々がいた事を頭の片隅にでも残っていれば幸いです。



施工状況 (※工夫した点、苦労した点)